足尾の索道跡を探して

足尾山塊　栗原川～不動沢～ツバメ沢～ケヤキ沢

福永

沼田から大清水へ向かう途中にある吹割の滝。そこが栗原川分岐の追貝（おっかい）集落で、栗原川林道は支流の不動沢に沿って奥へ奥へと延びている。山のブログによると2019年10月の台風以後通行止めになり、2020年3月に正式に廃道となったとか。以前よりは少々不便になったけど、足尾の索道跡をこの目で見てみたいという欲求に従い栗原川行きを決めた。

7/15　小雨のち曇り

栗原川林道の駐車スペースで雨が上がるのを待ってから出発。30分も歩きピンクテープに従い斜面を降りたら最後15mの傾斜が強く、念のため懸垂下降で入渓した。横幅いっぱいにナメが広がり明るい川だ。早速竿を出しながら歩くが、当たりなし。途中で耕至さんと私は源公平集落跡を散策して山の神を見つけお参りした。大膳ノ滝には13:30に着いた。登ることができるらしいが、そのつもりもないので少し戻った右岸のガレから高巻きに入る。見当をつけて滝上に進むと踏み跡がはっきりしてきて、円覚線停車場跡の碑にでた。その先は支流である不動沢の円覚ノ滝上で、目が眩むような場所で仕事をしていた昔の人に思いを馳せる。私たちは、古く太い残置ロープを使って、不動沢左岸に続く踏み跡を忠実に進み、ツバメ沢出合にぴったり降りた。ツバメ沢に降りずに踏み跡を進むと十林班沢、砥沢集落跡までつながっているようだ。文字で書くと簡単だが、円覚からツバメ沢出合までの踏み跡探しは面白く、また昔日の通勤路に郷愁心をくすぐられ、そんな自分が可笑しい。高桑さんの『古道巡礼』に魅了され、自分も古の世界に身を置きたいと願う。荷を下ろし、貸し切りの砂地に堂々とタープを張ると、各々自由時間。釣りに出かける。後藤君が2匹釣れたと嬉しそうに帰ってきた。その日の晩は蕎麦の実を使った耕至さんのオシャレご飯もいただいて就寝。

7/16　晴れ

今日は日帰りで不動沢と砥沢集落跡を探索する。昨日辿ってきた尾根を登り返し、円覚ノ滝上から不動沢に入る。単独の釣り人と、1泊釣行で帰るところだという3～4人のパーティと出会う。名前のついた不動滝はペタペタ歩けるナメ滝で、少し期待していただけに肩すかしだ。。沢にアクセントが欲しく、もう1つの滝では釜の左から空身でへつるが、手がかりが少なくドボン。後藤君にも遊んで貰ったら、水流右の被っているところをボルダリングムーブで突破した。結局、他の3人は左岸の残置から上がる。そろそろ尾根越えしようと、地形図の不動沢の字の辺りから左岸の支流を探るが、これが大失敗。急峻で脆く、危なすぎるので懸垂下降で振り出しに戻る。気を取り直して少し先の緩い斜面に取り付き南東に進みCo1424mと林道の間の鞍部に上がった。林道脇には薗原ダムの雨量計があり、地形図にはない西に延のびる支線を辿るとCo1424mの北を巻き、行き止まりから沢形を南西に降りると栗原川本流で、どんぴしゃりでCo1168mの砥沢集落跡に到着した。1000人以上が住んでいたという砥沢は伸び放題の雑草に覆われていたが、お堀の石垣を思わせる立派な石積みは健在だったし、広場の真ん中には紅葉の大木があって、その幹の太さが歴史を物語っていた。

7/17　晴れ

2泊お世話になったツバメ沢出合を6時過ぎに出発。ツバメ沢からケヤキ沢への遡下降は、気持ちが良かった。ツバ

メ沢は難しくはないけどロープをだす滝があるし、林道（ツバメ沢支線）にでてから、ケヤキ沢への下降もすっきりしている。さすがゴールデンルートだ。ケヤキ沢大滝は圧巻で、人生で一度は見た方が良い滝の一つに入りそうだ。大滝はセオリー通り落口手前の、右岸の踏み跡の奥にあるガレルンゼに降りるように懸垂下降。その後は右岸につけられた踏み跡を使ってドンドン降りられる。途中、伏流化して水のないゴルジュを見下ろしたり、何の跡なのか石積みの跡を左岸右岸にも見ながら、栗原川本流に到着した。今日は真夏の暑さで、本流で火照った身体を冷却してから、対岸に渡り、最後の踏ん張りで栗原川林道へ上がった。

DATA

山行日　2023年7月15日(土)～17日（ 月）

行程　7/15　ゲート(9:10)～栗原川入渓(10:38)～円覚線停車場跡(14:22)～ツバメ沢出合BC(15:15)

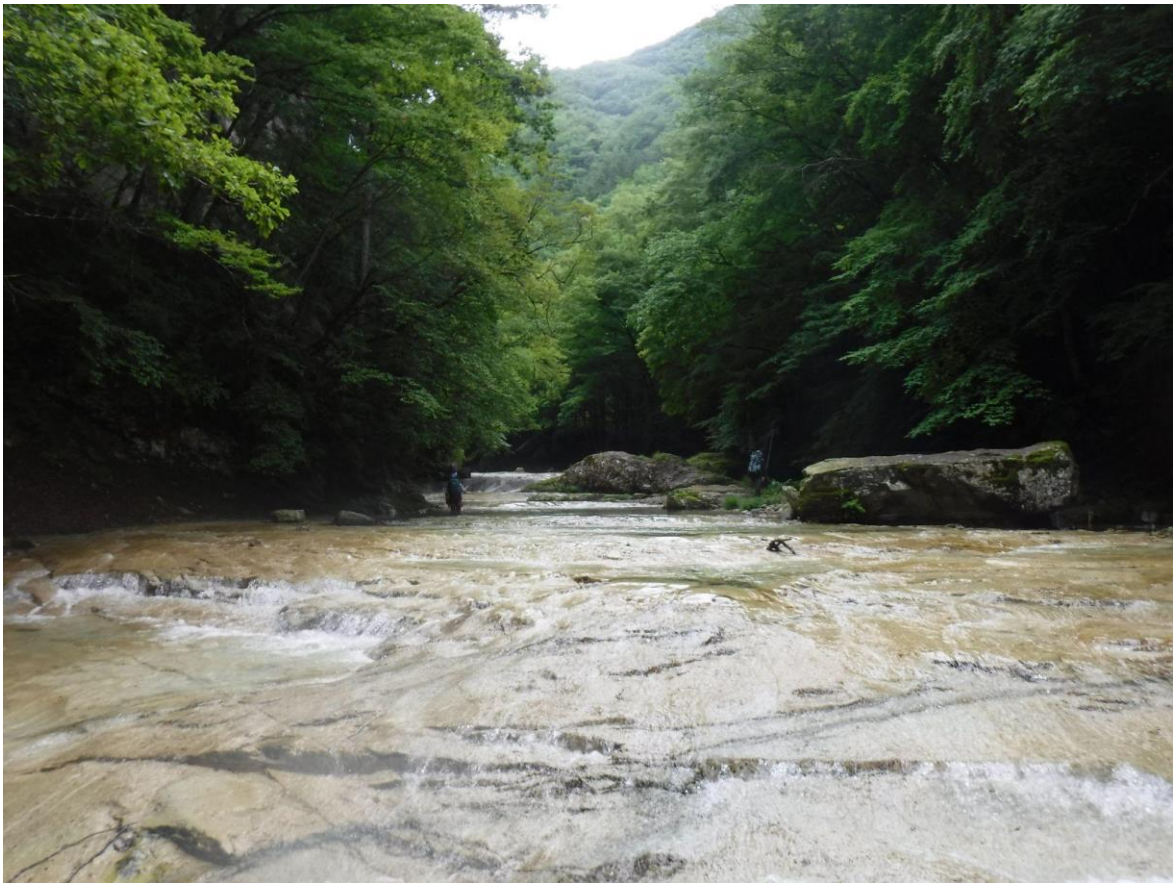
7/16　BC(7:14)～円覚滝上(7:48)～Co1398m雨量計(13:45)～皇海荘・砥沢跡(14:38)～BC(16:20)

7/17　BC(6:12)～ツバメ沢支線(7:30)～ケヤキ沢大滝(10:30)～栗原川出合(12:07)～ゲート(13:22)

グレード　2級下

地形図　皇海山、袈裟丸山

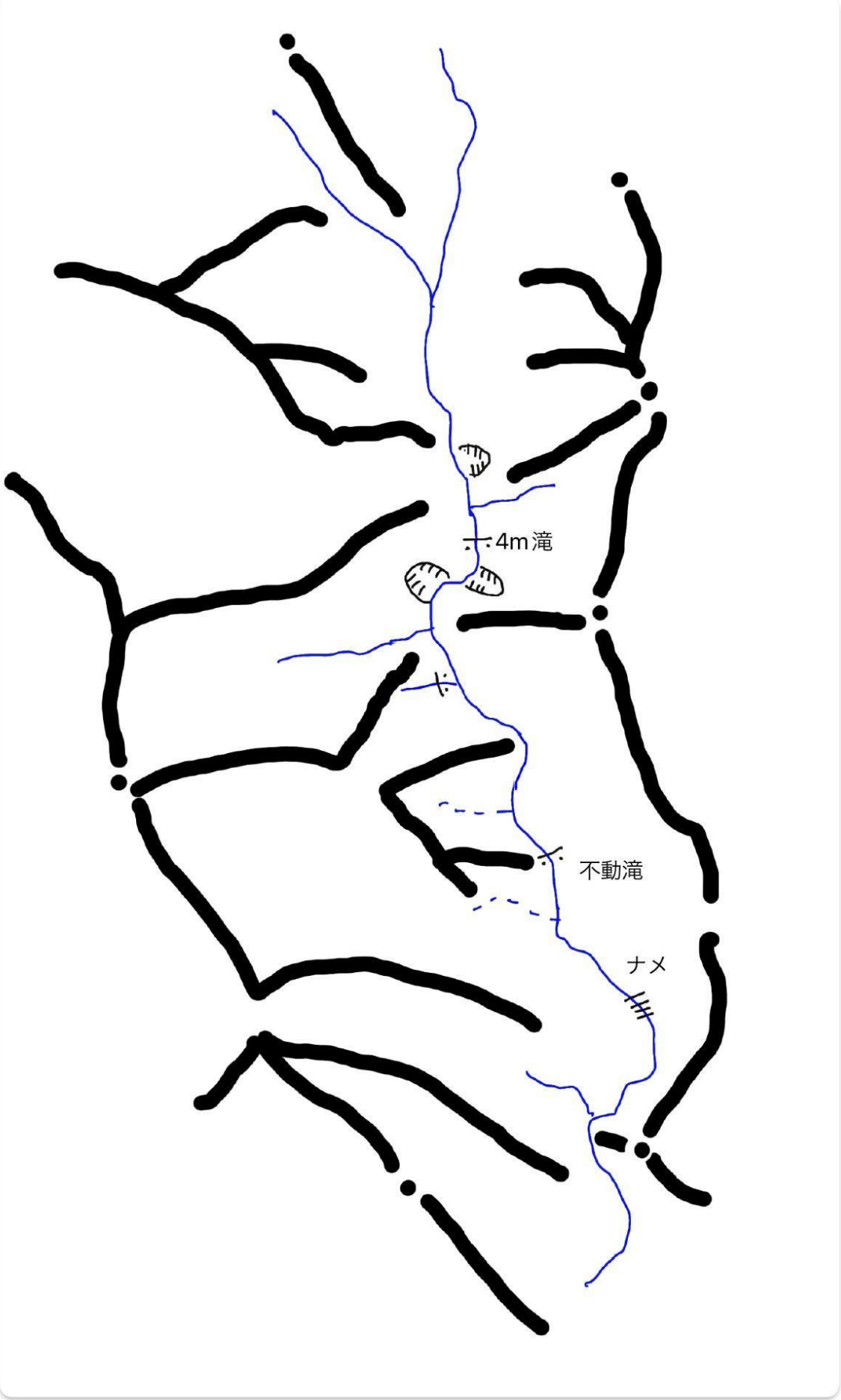
メンバー　L福永、佐藤K、松本、後藤

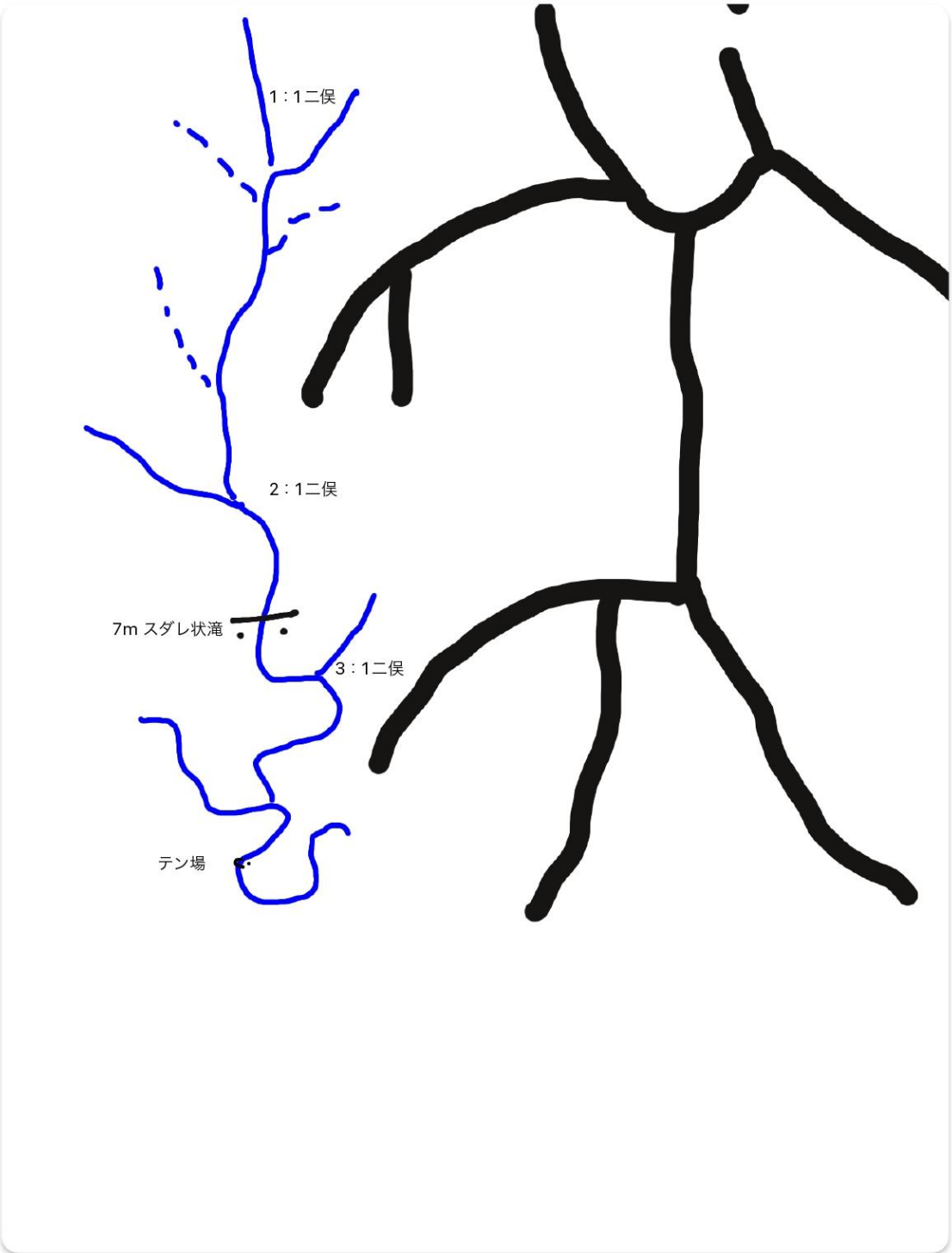


栗原川いっぱりのナメ

広々したベースキャンプ

神々しいケヤキ沢大滝


4m滝
不動滝
ナメ



栗原川不動沢
2023/7/16
作図：後藤

栗原川ケヤキ沢下降
2023/7/17
作図：後藤